



111th CRC Seminar

森林総合研究所の遠藤圭太氏が共同研究打合せで来盛されるのを機会に、森林総研が実施している植物遺伝資源（特に樹木）のジーンバンク事業と長期遺伝資源保存技術開発に関して話題提供していただきます。「植物生理学」講義の一部として実施しますが、興味ある多くの方のご参加をお待ちしています。

遠藤 圭太 氏 (Dr. Keita Endoh)

(森林総合研究所・林木育種センター)

林木ジーンバンクにおける樹木遺伝資源の凍結保存技術の開発

時間：2017年11月20日（月）13:00～14:30

場所：総合教育研究棟（生命系）2階・ぽらんホール

樹木は、人の生活に欠かすことのできない有用な遺伝資源のひとつである。我々は、日本の樹木遺伝資源の消失を防ぎ、将来にわたって持続的な樹木の利用を可能とするため、様々な樹木を保存する林木ジーンバンク事業に取り組んでいる。本セミナーでは、林木ジーンバンク事業の概要と樹木の凍結保存技術の研究開発について紹介する。

(問合せ先：上村 松生：uemura@iwate-u.ac.jp)